

◎ ペレット関連情報

■ (株) ZE エナジー (東京)、台湾のペレタイザーメーカーである咏明機械工業股份有限公司 (以下、ヨンミン社) 製ペレタイザーシステム 総代理店契約に関する基本合意書を締結。ヨンミン社製品は東南アジアでの販売導入実績では圧倒的なシェアを誇る。日本で販売される同等品と比較しイニシャルコストを約 1/2~1/3 以下に抑えることが可能で、優れたコストパフォーマンスが特徴。同社はペレットボイラの普及における最大のポイントは手頃な価格のペレット燃料供給にあるため、ヨンミン社製ペレタイザーの導入が進むと安価なペレット普及に繋がり、2015 年 7 月 29 日に締結したÖkoFEN 社 (オーストリア) 製ペレットボイラの販売を加速度的に推進できるものと考えている。今後はボイラ設備の導入を検討する各市町村などの自治体を軸として、一般企業向けにも販売を開始する予定

【(株) ZE エナジー : 2016/02/02】

http://www.ze-energy.net/news/info/yeong_ming.html

■ (株) 山匠 (長野県伊那市)、竹林整備で出た竹を有効に活用してもらおうと、竹を燃料に使えるストーブを開発。6mm の鉄板を使い、竹の燃焼熱にも耐えられる構造。竹の他に薪やペレットにも使用できる。竹ストーブは産直市場グリーンファーム (同市) で販売。本体価格は約 8 万円~13 万円 【伊那谷ねっと : 2016/02/03】

<http://inamai.com/www/ictnews/detail.jsp?id=43130>

■ 移住定住促進を目的に長野県伊那市が同市富県新山地区に建設した、規格をそろえた低価格住宅「キットハウス」のモデルハウスが完成、2 月 6 日に竣工式。モデルハウスは木造 2 階建て、延べ床面積 79.5 m²。夫婦と子ども 1 人の 3 人家族を想定。自然エネルギーの活用を提案するため、薪ストーブとペレットストーブを設置。総事業費は約 1,600 万円。年度内は試行期間に位置付け、木質バイオマスをテーマにしたイベントやヨガ教室などを開催。来年度から宿泊の受け入れなど、本格的に運用を始める 【長野日報 : 2016/02/07、里山新山田舎暮らしモデルハウス】

<http://www.nagano-np.co.jp/modules/news/article.php?storyid=36269>

<http://niiyama.org/kithouse.html>

■ 愛媛県の養護老人ホーム大洲市清和園の建て替え工事が終わり 2 月 8 日、新施設で竣工

式を実施。旧施設が築 40 年を経過し耐震安全性の問題があったため、市が総工費 7 億 7,812 万円をかけて施設を新築。大洲産の木材や輝緑岩を使用して温かみのあるデザインとし、木質ペレットボイラや太陽光発電設備も導入【愛媛新聞 ONLINE：2016/02/09】

<http://www.ehime-np.co.jp/news/local/20160209/news20160209362.html>

■EPC (欧州ペレット協議会)、2 月 16 日に会長選挙を実施。Propellet France (フランス) 理事長の Eric Vial 氏が新会長、LATbio (ラトビア) 会長で欧州バイオマス協会 (AEBIOM) 副会長の Didzis Palejs 氏が新副会長に。さらに今回の選挙で EPC 前会長で ProPellets Austria (オーストリア) 代表のクリスチャン・ラコス氏、AIEL (イタリア) の Annalisa Paniz 氏、Wood Pellet Association of Canada の Gordon Murray 氏の 3 名を特別理事とし、理事会の機能を強化【EPC：2016/02/16】

<http://www.aebiom.org/220216-the-european-pellet-council-aebiom-network-elects-its-first-board/>

■(株) IHI (東京)、鹿児島県鹿児島市七ツ島地区に保有する土地の一部 (約 62,000 m²) を活用し、木質バイオマス発電事業へ。同社が中心となり、県内企業等と特別目的会社 (SPC) を設立して事業にあたる。出力規模は 49MW (一般家庭約 7 万 7000 世帯の年間使用電力量に相当) で、FIT に基づき全量を九州電力 (株) に売電する予定。燃料は東南アジアから輸入するヤシ殻等を中心に木質ペレットや一部地元の間伐材も使用。総事業費は約 235 億円。2016 年度より建設に着手、2018 年後半に完成し、以降 20 年に亘り売電する計画[同社プレスリリース：2016/02/16、日本経済新聞、日経 BP 環境経営フォーラム：2016/02/18]

https://www.ihico.jp/ihico/all_news/2015/press/2016-2-16/index.html

<http://www.nikkei.com/article/DGXLZO97393250X10C16A2LX0000/>

<http://business.nikkeibp.co.jp/atcle/f/15/238719/021800858/>

■住友商事 (株) (東京)、ブラジルにおけるバイオマス燃料製造事業へ資本参画。同社は世界最大の砂糖メーカーのコザン (ブラジル) 子会社でバイオマス発電向けサトウキビ固形燃料ペレットを製造・販売するコザンバイオマス (同) の株式を 20%まで取得し、経営参画する契約を締結。コザンバイオマスはブラジル政府からの支援を受けた 175,000t/年の生産能力を持つ第一工場で 2015 年末より商業生産を開始。住友商事の経営参画により、今後は日本や欧州向け輸出とブラジル国内向けの販売を拡大させ、工場を増設する計画。サンパウロ州で生じるサトウキビ残渣はペレット換算で 4,500 万 t と大きな賦存量があり、2025 年には 200 万 t の生産体制、さらに将来的には 800 万 t 規模の生産体制を目指す【同社ニュースリリース：2016/02/26】

<http://www.sumitomocorp.co.jp/news/detail/id=29182>